

令和元年度 第2回 碧南市介護保険運営協議会会議録

1 日時

令和元年12月19日（木） 午後1時30分～午後2時25分

2 場所

碧南市役所 2階 会議室1

3 出席者

- (1) 委員 禰宜田知司、大田康博、堀尾静、下村美幸、
沢井智美、齋藤健、永坂幸子、藤田敏江、山田正教、佐藤洋一、
片山一也、磯貝靖子、高松好美、磯貝厚子、伊藤久美子、小林清彦
(計16名)
- (2) 事務局職員 健康推進部長 杉浦秀司、高齢介護課長 山田昌宏
健康課長 齋藤雅人
高齢介護課課長補佐 杉浦洋子、高齢介護課高齢福祉係長 小林圭介、
高齢介護課介護保険係長 石川 真佐紀
健康課成人保険係長 石川 麻子、高齢介護課主査 石川 基
高齢介護課主事 林 拓寛 (計9名)

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 要介護認定者、事業所及びケアマネジャーアンケートの実施について
(2) 第8期碧南市高齢者ほっとプラン策定スケジュールについて
(3) その他

6 議事録

事務局：あいさつ

会長：あいさつ

事務局：議題(1)の説明

A委員：今回の要介護認定を受けている方への調査は国が示している調査項目と同様のものか。

事務局：国が示している調査項目に碧南市独自の項目を加えております。

A委員：碧南市の要介護認定者のうち在宅の方はどれくらい居るのか。

事務局：要支援者も含めた人数が2,600人弱となっており、そのうち750人が要支援の認定者の為、1,850人程度が要介護の認定者です。1,850人に対し在宅は1,400人程です。

A委員：1,000人に調査するので抽出率はかなり高いですね。

A委員：資料1-2のP11,12,13にサロンという言葉が出ているがそれぞれ異なるものを指しているのか。

事務局：それぞれ運用主体が異なります。市が運営しているものもあれば社協が運営しているものもあります。

B委員：場所もそれぞれ全く異なります。例えば社協が運営するふれあいいきいきサロンは公民館で行っています。

事務局：P11のサロンは施設等含めた集いの場を想定、P12は市が運営する大浜と新川のまちかどサロンでP13は社協が運営する公民館のふれあいいきいきサロンです。

A委員：回答する側もわかりにくいように感じる。補足説明等を加えてはいかがか。また、資料1-2の問18についても項目の順番をサービス種類別に揃えた方が回答しやすいのではないか。

B委員：資料１－２のアンケートを対象者が答えるのにケアマネにも協力を求めたいとのことだったが、ケアマネにも個々で書面にて依頼した方が良いのではないか。

C委員：アンケートの対象者についてだが、資料１－２の間８については民生委員さんに、資料１－３の間１３については介護認定審査会の委員さんにも意見を求めているかどうか。

事務局：多くのご指摘ありがとうございます。介護サービス機関連絡協議会で周知する等、それぞれについて方法を検討します。

D委員：資料１－２の回答についてケアマネにも回答の手助けを求めるならやはり依頼文等があった方がこちらでも説明しやすい。

資料１－２の間１６にある各サービスは介護保険制度上のものを想定しているのか、それとも各個人の民間業者との自由契約を想定しているのか。

事務局：介護保険外も含めた全ての支援・サービスを想定している。わかりにくい項目については補足を加える。

E委員：資料１－２の間７は自宅で生活している方への調査なのに、なぜ施設等が入っているのか。

また、資料１－２のアンケートの対象者についてだが、サ高住や有料老人ホームに入所して在宅サービスを受けている方も居る。間１０以降も回答していただく必要があるのではないか。また、入院中の方についても一時的であるケースも想定されるため、回答をしていただく必要があるのではないか。

また、間８の「保険料が多少高くなっても」という表現があるが、少子高齢化が進行する現状も踏まえると「多少」という表現は適切なのか。「保険料が高くなっても」という選択肢を増やしてはどうか。

事務局：抽出時と調査時点でタイムラグがあり、抽出後に施設に入所する等状況が変わる方も想定されるため、施設等の項目も入れています。

また、抽出対象についてもサ高住等の想定がこちらになかった為再検討いたします。また、問8についても検討いたします。

F委員：資料1－2のP5の調査終了対象者の書き方についても、サ高住等が想定されていない。

また、資料1－4の問1について、主任ケアマネかどうかの項目を入れてはどうか。市としても各事業所の配置状況を把握するのに役立つと思う。

事務局：検討いたします。

A委員：地域のボランティア活動や見守りの支援者、民生委員などの地域の協力者とケアマネジャーにつながりはあるのか。また、ケアマネはそういった地域資源をどこまで把握しているのか。

事務局：地域の方々とケアマネは個別地域ケア会議等で必要なときは連携を行っている。

A委員：資料1－3の問7について質問票の形式がおかしいとの指摘。

事務局：修正します。

E委員：資料1－2の問28の「ケアマネージャー」を「ケアマネジャー」に修正との指摘。

資料1－3の問1について、職員・スタッフの職種が有資格者以外の記載がその他になっている。資格を持たずとも介護職に従事している人は多くいるので表現を改めてはどうか。

資料1－2の問6については認知症に関する質問である為、安心ッス!!へきなん支え愛ネットに加入しているかどうかを質問項目に加えてはどうか。

事務局：検討いたします。

事務局：議題（２）の説明

質問事項なし

議題終了

事務局：あいさつ